

令和6年度
東アジア文化都市交流事業

新潟開催ダンス交流
実績報告書

新潟市文化スポーツ部文化政策課

01_事業概要・趣旨



2015年日中韓の東アジア文化都市である新潟市、青島市、清州市の3都市は、2015年以降も継続して相互交流を実施することで、自都市の文化の独自性や東アジアの文化の共通性を認識して価値を共有するとともに、相互理解や連帯感を深化させ、共生・交流の関係づくりを築く機会となっている。

その取り組みの一環として、中韓学生を新潟へ招聘し、3都市の同文化分野で活動している学生同士の交流を通して、今後のスキルアップや他国文化への理解を深めるため、交流プログラムを実施した。 ※今年度は中国不参加

02_実施スケジュール

『ダンス』をテーマに、振付作成や発表、ダンスワークショップ等の交流プログラムを実施する

プログラム	日時	内容
参加チーム募集	4月5日（金） ～5月9日（木）	「ダンスを専攻している、またはダンスの活動をしている大学生・専門学生7名」を対象として募集
事前説明会	6月4日（火）	事業説明、今後のプログラムの説明 など
ダンス楽曲・振付決め	6月4日（火） ～7月2日（火）	「にいがた総おどり」での出演楽曲・振付
事前オンライン交流会	8月9日（金）	両国参加者の事前顔合わせ、各都市の踊り文化の学習、振付の確認 など
ダンス交流プログラム	9月14日（土） ～9月18日（水）	レクリエーション 新潟古町芸妓からの日本舞踊体験 新潟総おどり出演 市内小学校でのダンスワークショップ

03_参加者

【新潟市】

参加者：国際音楽ダンスエンターテインメント専門学校 7名

引 率：新潟市文化政策課職員 4名

通 訳：新潟市文化政策課職員、国際課職員

【韓国・清州市】

参加者：清州市清忠（チュンチョン）大学実用ダンス科 7名

引 率：清州市文化産業振興財団 2名

清州市文化体育観光局文化芸術課 1名

04_事前オンライン交流会

【日 程】8月9日（金） 13時～15時30分

【会 場】ゆいぽーと クリエイティブスタジオ

【交流内容】

内容	説明
自己紹介・チーム紹介	・参加者1人ずつ簡単に一言 ・チーム紹介、説明
各国の踊り文化紹介	・PPTを使って各国の踊り文化を紹介
ダンス交流プログラムの説明	9月の交流プログラムについて 新潟市職員から両都市参加者へ説明
披露するダンスのポイントレクチャー	・ダンス動画視聴 ・ポイントレクチャー
小学校でのダンスワークショップについて	ワークショップで踊るダンスについての説明
フリートーク	各都市交互に質問

【発表資料】※一部抜粋

新潟市

ダンスが根強い街『新潟市』

新潟市の踊り文化について

1. 新潟市無形文化財第一号 日本舞踊「市山流」
2. 日本初の公共劇場専属舞踊団「Noism」
3. CHIBI UNITY
4. いがた総おどり

日本初の公共劇場専属舞踊団
Noism Company Niigata

日本初で国内唯一の公共劇場専属舞踊団
リサーチ及び新潟市市民芸術文化会館を拠点に2004年に設立
「Noism = 舞主義」の心が表すように
物欲の主義・流儀に囚われず、東西文化の歴史の中で培われてきた
様々な身体知を融合させ、21世紀の舞踊を新潟から世界に発信。
オーディションで選ばれたダンサーが国内外から新潟市に移民し、日々
新しい視線を重ね、創作した作品を国内外および世界中で上演。

日本最大級 オールジャンルのダンスフェスティバル
にいがた総踊り

にいがた総おどりは...
国内外から参加者が集う、
日本最大級のダンスの祭典

出演者：約15,000人
観 衆：約200,000人
総演出作：「心を込めて観ること」のみ
国籍、年齢、性別、ダンスジャンル、などの縛りなし！
2002年 初開催!!

清州市

"C.C.U.D"

Chung Cheong University Dance

C.C.U.D 舞団には 충청대학교 실용댄스교의 댄스 동아리입니다.
동아리 이름은 CCU(충청대) 그리고 Dancer들이 결합된 약자로 충청대학교 실용댄스교를 의미합니다.
충청대학교 실용댄스교는 충북에서 2020년 창간되어 충북 지역의 대외, 공연활동 제외하면 음
향뿐만 활동을 하고 있으며 K-POP댄스를 통하여 활동자격을 얻고 있습니다.
충청대학교 실용댄스교는 전공과정 1-2학년 / 실용과정 3~4학년 제도로 나뉘어 있으며
현재 1학년부터 4학년까지 실용댄스교에서 춤을 배우고 있습니다.
동아리 인원 중 7명 선발되어 이번 일본 나가타 문화 교류 사업에 참여할 수 있게 되었습니다.

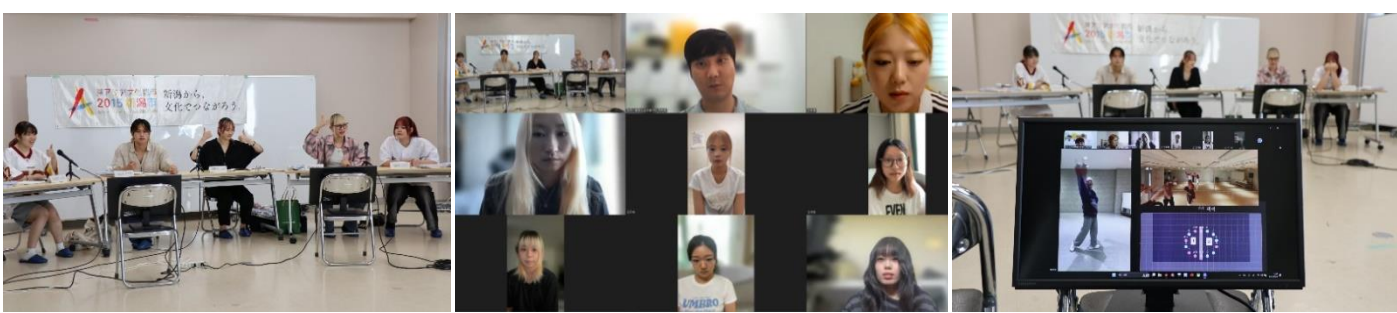
Competitions and performances

CHEONGJU

AN OVERSEAS POSTING

THAILAND

축하합니다
충청 실용댄스교 우수학생 優秀 表彰 受賞 祝賀
奨励賞 1名決定
김지성 김세민 유다민
2024.08.02



05_交流会プログラム 1日目

9月14日 (土)

行程

11:50 【清州団】 成田空港 到着
18:10 【清州団】 新潟駅 到着

万代シルバーホテル泊

05_交流会プログラム 2日目

9月15日 (日)

行程

10:00 歓迎会・レクリエーション
13:00 燕喜館見学
13:30 新潟古町芸妓から「日本舞踊」体験
15:00 ダンス練習

万代シルバーホテル泊

《歓迎会・レクリエーション》

【内容】

- 主催者代表 歓迎あいさつ (文化政策課長)
- 参加者ペア自己紹介
日韓参加者がペアになって、日本語・韓国語の名札を作成
全員の前でペアで通訳をしながら自己紹介
- レクリエーション
準備体操・両国お菓子交換
〈個人戦〉爆弾ゲーム
〈チーム戦〉伝言ダンスゲーム



《新潟古町芸妓から『日本舞踊』体験》

【目的】 新潟市独自の文化である「新潟古町芸妓」を知り体験するとともに、「ダンス」をしている学生のスキルアップにつながる経験を提供する

【講師】 新潟古町芸妓 和香/咲也子/舞衣子

- 【内容】
- 日本舞踊の説明
所作や動き、物の見立て等
 - 舞の披露
四季の新潟／新潟おけさ
 - 「日本舞踊」体験
新潟古町芸妓と「十日町小唄」の振付に挑戦



《ダンス練習》

翌日のにいがた総おどりで披露するダンスの練習、
および翌々日に実施する小学校でのダンスワークショップの打合せ



05_交流会プログラム 3日目

9月16日 (月)

行程

09 : 30 最終ダンス練習
11 : 54 にいがた総おどり 演舞①
15 : 18 にいがた総おどり 演舞②
17 : 06 にいがた総おどり 演舞③
18 : 00 にいがた総おどり フィナーレ鑑賞

万代シルバーホテル泊

参加者が制作した振付で、踊りの祭「にいがた総おどり」に出演
会場を変え全3回で演舞を行い、最終会場では全出演者のトリをつとめた

【出演楽曲】 青と夏 / Mrs.GREEN APPLE

【第一会場】 新潟ふるさと村



【第二会場】 新潟駅南口広場



【第三会場】 万代シティ十字路 (メイン会場)



9月17日 (火)

行程

08:45 ダンスワークショップ リハーサル
09:35 小学生とのダンスワークショップ①
11:15 小学生とのダンスワークショップ②
12:00 小学生と一緒に給食
14:00 市内施設見学
17:00 まとめ・振り返り
新潟参加者解散

万代シルバーホテル泊

《ダンスワークショップ》

- 【目的】 ワークショップ実施を通して他国文化への理解を深め、他国の方との交流機会を創出し、幅広い市民へ事業の成果を還元する
- 【内容】 ● ダンス披露（青と夏）
● K-POPダンスに挑戦！
韓国大学生から、本場のK-POPダンスを教わり一緒にダンス
● 日韓クイズ
日本と韓国での小学生・小学校での違いをクイズ形式で学習

【実施校1】 新潟市北区 太夫浜小学校

【対象】 小学6年生 32名



【実施校2】 新潟市東区 桃山小学校

【対 象】 小学6年生 67名



《まとめ・振り返り》

今回の交流プログラム全体の振り返りを行い、
参加者全員で思い出に残ったこと等を、それぞれ発表しあった

- 【内 容】
- 交流振り返り動画の視聴
 - 体験振り返りシート記入・発表
「一番印象に残ったこと」、「交流中のハプニング」、「一番大変だったこと」等の全10項目について各自で振り返り、その後カルタ形式で引いたお題について全員の前で発表
 - 全員へ寄せ書き



05_交流会プログラム 5日目

9月18日 (水)

行程

09:45 みなとぴあ見学
12:27 【清州団】新潟駅 出発
19:35 【清州団】成田空港 出発

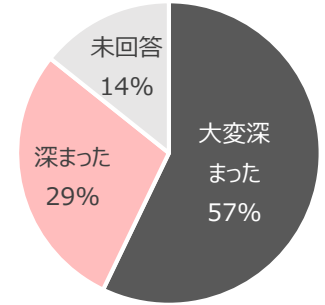


06_参加者アンケート

【新潟参加者】

● 今回の交流で相互理解が深まったと感じましたか

大変深まった	深まった	変わらない	あまり深まらなかった	深まらなかった	未回答
4	2	0	0	0	1



● 新たに興味や関心が深まったことについて教えてください

- 今回は日本の小学校を訪問したが、韓国の小学校はどんな感じなのか興味が湧いた。
- 韓国に行って同じ体験をしてみたいと感じた。今回は日本だったので困ることもなく過ごせたが、逆の立場から見た時にどのように感じるのかとても気になった。
- 交流プログラムから仲良くなった韓国参加者のSNSにあげるダンスを見て、わたし達が習っているものと全く違うため、より韓国のダンスに関心が深まった。
- 夢がダンサーで、韓国に行くことが最終目標のため、こうして韓国の方と関われる機会があるのはとても貴重な体験だった。

● 今回の経験が今後どんなことに生かせそうか教えてください

- 言語が上手く伝えられなくてもダンスでは繋がることができると分かった。今後他国でも色々な人とダンスで繋がっていきたいと思った。
- 「韓国語を話せないから韓国の方と話さない」と怖がらなくても、頑張っって声をかけてみればいろんな方法で伝え合えることが分かった。
- 言語に対しても凄く興味が沸いたので、勉強してみたいと思った。ダンサーとしての繋がりもできたので、将来にも有効なのではないかな、と思った。
- 改めて踊り方の違いなどを感じて、現地(韓国)で活動する際の参考になった。

● 日韓の文化の違いで驚いたことを教えてください

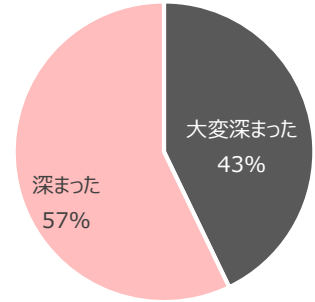
- ダンススタイルの違い。
- 日本よりも上下関係がはっきりしていること。
- 普段食べているものが違うため、凄く日本の食事が珍しそうだった。
- 道路や歩道が日本とは逆だということ。飲食店では持ち込みが可能ということ。

06_参加者アンケート

【清州参加者】

● 今回の交流で相互理解が深まったと感じましたか

大変深まった	深まった	変わらない	あまり深まらなかった	深まらなかった
3	4	0	0	0



● 今回の経験が今後どんなことに生かせそうか教えてください

- 今回の交流で日本の参加者と話すとき、日本語を学ぶことが多く、次日本に来たら学んだ日本語を使いたい。
- 日本語の勉強をしてから留学をしたいと思った。
- 日本と韓国が仲良くなるように橋渡しし、ダンスを踊りながら成長したいと思った。
- 今回の交流で、今までできなかった良い経験が沢山できて、新しいことを始める自信になった。

● 日韓の文化の違いで驚いたことを教えてください

- お皿を持ってご飯を食べること。
- 小さなことでも、いつも「ありがとう」ということに驚いた。
- 練習をするとき、よく「お願いします」ということに驚いた。
- ご飯を食べるときにスプーンがないこと。絶対「いただきます」と言ってから食べ始めること。
- 通行方向が反対なこと。小学校にプールがあること。現金をよく使うこと。

● 印象に残った体験や感想を教えてください

- 小学校でのワークショップで、こどもたちが韓国をとっても好きな姿に驚いたし、不慣れな韓国語で質問したことが印象的だった。
- 日本の伝統的な踊りを学ぶのが楽しかった。にいがた総おどりで最後に出演した発表舞台が長く伸びる形式なのは初めてで、面白かった。
- 次このような機会があったらまた参加したい。

07_小学校WSアンケート

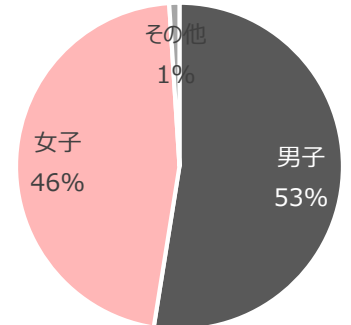
【対象】 ダンスワークショップに参加した小学生

【手段】 先生を經由し、小学生が保有しているタブレット端末へ回答フォームを送信

【回答数】 太夫浜小学校：32件（100%）、桃山小学校：67件（100%）

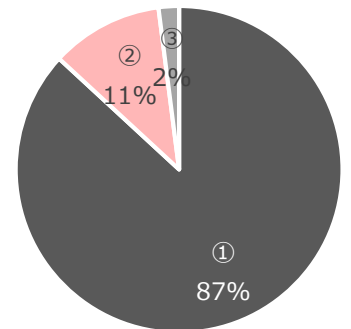
● 参加者の性別

	太夫浜小	桃山小	合計
男子	17	35	52
女子	15	31	46
その他	0	1	1
合計	32	67	99



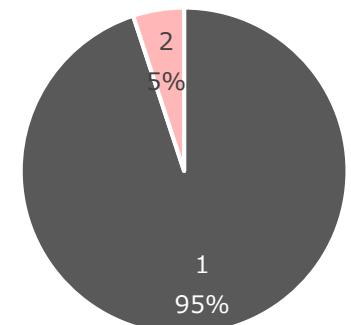
● ダンスワークショップは楽しかったですか

	太夫浜小	桃山小	合計
とても楽しかった	30	56	86
まあ楽しかった	2	9	11
あまり楽しくなかった	0	2	2
全く楽しくなかった	0	0	0
合計	32	67	99



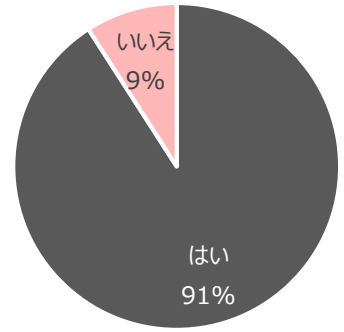
● ワークショップに参加してみて、参加する前より韓国文化に興味が湧きましたか

	太夫浜小	桃山小	合計
湧いた	31	63	94
湧かなかった	1	4	5
合計	32	67	99



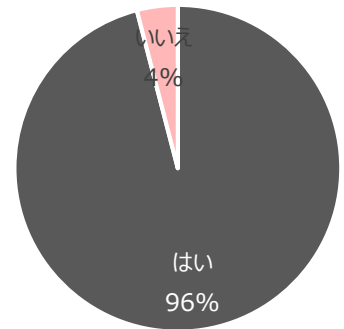
● ワークショップに参加してみて、韓国をはじめ海外に興味を持ちましたか

	太夫浜小	桃山小	合計
はい	28	63	94
いいえ	4	4	5
合計	32	67	99



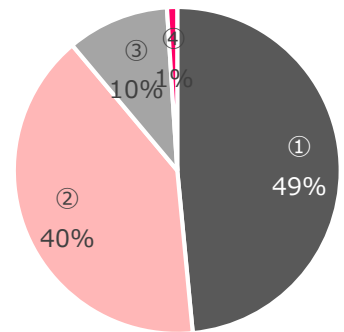
● ワークショップに参加してみて、韓国をはじめ海外の方とさらに交流してみたいと思いましたが

	太夫浜小	桃山小	合計
はい	32	63	95
いいえ	0	4	4
合計	32	67	99



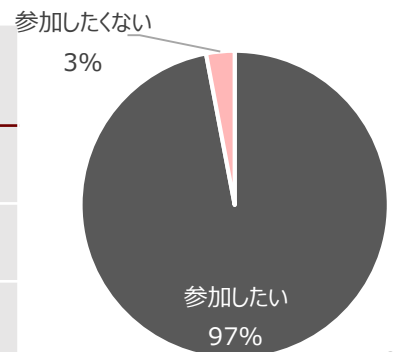
● ワークショップに参加してみて、今後『ダンス』をやってみたいと思いましたが

	太夫浜小	桃山小	合計
①ぜひやってみたい	18	30	48
②授業でなら	11	29	40
③やりたくない	3	7	10
④その他	0	1	1
合計	32	67	99



● 今後、韓国人など海外の方と給食を食べながら交流する機会があったら参加したいですか

	太夫浜小	桃山小	合計
参加したい		65	65
参加したくない		2	2
合計		67	67



● ワークショップを実施して、印象に残ったことや新しい発見などを教えてください

- 韓国語を初めて聞いて、「こんな言葉を喋るんだな」と思い、他言語を話してみたいと思った。
- 韓国や日本のダンスをテレビでしか見たことがなかったけど、実際に見たら迫力があって全部揃っていてびっくりしたし、すごいと思った。
- 違う国で言葉も通じない人でも、交流することができるんだなと思った。
- 褒めてくれて嬉しかった。自分もダンスをやっているのだから、ダンスを通して交流するのはとても良いことだなと改めて思った。
- 海外の人にあまり会ったことがなかったけど、韓国の人がとても優しくかった。
- 最初のパフォーマンスのダンスがとても上手くてびっくりした。ダンスをもっとうまくなりたいなと思った。なかなかこの機会はないと思うので、自分の小学校に来てくれて嬉しかった。
- 一緒に給食を食べて、日本の給食に興味をもってほしいなと思った。とても短い時間だったので、もっと一緒にいたかった。
- 韓国人と話して、最初は緊張していたけどいつのまにか緊張がなくなっていた。話すことって、すごく大事なことだと思った。「写真を一緒に撮りませんか」と誘った時も、優しく「いいですよ」と答えてくれてすごく嬉しかった。
- 韓国のことについて（内容は韓国の食べ物について）調べていたので、色々教えてもらい面白かった。
- ダンスが苦手だったが、韓国の人たちにうまく教えてもらったので、ダンスが上手くなれた気がした。
- 言葉が通じないと思ったが、日本人が通訳してくれたので話が伝わった。とても経験ができて嬉しかった。
- お互い違う国の言葉を喋っていた時でも、ジェスチャーなどを使ってコミュニケーションを取ることができた。韓国語は全然喋れなかったけど、韓国語で喋っている人と話したらなんとなく分かって楽しかった。
- みんながすごく楽しそうにしてたことが印象に残った。日本語で喋られてわからなくて不安だろうに、楽しそうにしていたのですごく印象に残った。
- ワークショップを通して他の国の人も交流会をしたいと思います。ワークショップをやったら前まであまり好きではなかったダンスがとても好きになりました。

● 【先生】教育者の立場からみて、今回のワークショップはどのような点が有意義だと感じましたか

- 対面交流でしか感じられない充実感や達成感、異文化への気付きを感じたり得たりすることができた。
- 交流対象が学生であったことから、児童と年齢が比較的近いため関わることに抵抗感が少なかったと感じた。
- 機材の準備や進行をお願いできたため、当日は児童の管理に専念できた。
- ワークショップ中にクイズなどを取り入れていただいたことで、終始和やかな雰囲気の中で交流することができた。
- 交流後、3年生から6年生に独自のアンケートを取ったところ、2名のみ楽しくなかったと答えたが、それ以外は楽しかったとの返答だった。楽しくなかったと答えた児童も、理由は「自分ももっと話したかったのに話すチャンスがなかった」と答えており、コミュニケーションを取りたいと前向きに感じたことも多くいたことが嬉しかった。
- 韓国という国を理解しようとする姿勢が見られた。外国の方と交流するという点で、会話を中心にするのではなく、一緒に体を動かすダンスによって打ち解けるのが早かった。
- ダンスがテーマであったことが有意義だったと思う。座学よりも体を動かすという点で盛り上がった。テレビ取材もあり、こどもたちは喜んでた。

08_成果・所感

- 今年度から始めて交流テーマを設けた対面交流を実施した。
- 昨年度まで実施していたオンライン交流のノウハウを生かし、対面交流前に参加者同士の事前オンライン交流会を実施した。事前に参加者同士の顔合わせの機会を設けるだけでなく、両国の踊り文化を事前に学習できる機会となった。
- 「ダンス」というテーマが、言語による会話はできずともコミュニケーションをとることが可能なものだったため、国際交流においては非常に有意義であることが分かった。また、普段から同分野で活動している学生同士のため、打ち解けるのも非常にはやかったと感じた。
- 新潟の参加者を募集する際、応募できる対象者が限定されてしまったため、募集が少なかったことが課題となった。次年度以降実施する際は、対象者の幅を広げられる内容での検討が必要と考える。
- 小学校ワークショップを実施したことで、参加小学生の良い変化が見られ、小学校にとって有意義な文化交流の機会であったことが分かった。
- ダンス後に給食を一緒に食べて交流する機会を設けた桃山小学校の方が、ダンス交流のみであった太夫浜小学校より、「韓国をはじめ海外に興味を持った」と答えた児童の割合が高かった。これは、給食の時間に韓国人と会話をしたり、韓国についての質問に答えたことが要因と考えられる。ダンス＋質問や会話をできる時間を設けたことで、より有意義な交流となったため、次回機会があれば、すべての実施校でワークショップだけで終わらず＋αの時間を確保したい。
- ワークショップの際に、小学生から積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢が見受けられたが、昨今ダンスやK-POPが小学生世代に浸透しており、関心がある（見ることはあるけどやったことはない）児童が多いことがその要因のひとつであったと考える。対象者の流行に寄り添うことも、より参加者にとって満足度の高い交流にする上で大切な観点であると感じた。

